

平成21年度第2回 公民館運営審議会会議要録

日時：平成21年 5月12日（火）

午後3時～5時まで

場所：小平市中央公民館 会議室

1. 出席者

公民館運営審議会委員 10名（欠席 3名）

事務局 館長、館長補佐、管理係長、分館主査、（欠席0名）

2. 傍聴者 0名

3. 配付資料

- ・東京都公民館連合会運営審議会研修会 資料①
- ・平成20年度第2回東京都公民館連絡協議会委員部会研修会 資料②
- ・平成20年度第3回東京都公民館連絡協議会委員部会研修会 資料③
- ・平成21年度小平市公民館定期講座実施状況表 資料④

4. 議題等

（1）報告事項

①館長報告

- ・4月人事異動について

副市長退任に伴う人事異動の報告の後、新任の教育部長が挨拶を行なった。

- ・平成21年度東京都公民館連絡協議会の定期総会の議事について

平成20年度の事業報告・決算、新年度の事業計画案および予算案が提出された。
また役員選任についての提案の承認、全国の公民館連合会への加入についての質疑があった。

- ・公民館関係予算について

補正予算が総務委員会で可決された旨の報告、及び公民館創立60周年記念関連予算の説明をした。

- ・仲町・上宿・花小金井南公民館で開催される公民館まつりについての案内をした。

③各係からの報告

- ・事業係及び各分館主査より、募集中の講座の応募状況、各講座の様子、及び公民館まつりについて内容説明を行なった。 資料④

《主な質疑》

委員 講座に参加している市民同士は、お互いにコミュニケーションを求めているのだと感じる。

委員 公民館主催講座の応募人数が、定員までに2、3名ほど足りない場合、

どのような方法で市民に知らせているのか。

- 事務局 講座のチラシを、公民館に来館した市民に渡したり、ご近所に配ったりしている。また講座のポスターに「追加募集」と記載して掲示したり、公民館を日ごろ利用している団体に、施設の鍵を入れるケースにチラシを挿んだりすることで、興味を持ってもらえることもあり、日ごろ公民館に親しんでもらっている方々を通して、口コミで伝わるケースもある。しかしこの件に関しては検討課題にして、魅力ある公民館にしていきたい。
- 委員 今の広報は市報がメインだが、60周年記念ということもあるので、予算がつけば公民館のポータルサイトなどを設立してはどうか。またチラシやポスターに載せるキャッチフレーズも、今の時代にあった、興味をもてるようなものにするよう工夫する必要がある。
- 事務局 アンケートによると、講座の受講生のほとんどは市報で講座の情報を得ているようである。インターネットでも講座の案内をしており、小平市HPからイベントカレンダーを見れば講座の開催を知ることは出来る。数多く配布するというよりも、必要な方に必要な情報が届くよう、努力していきたい。
- 委員 講座のPRばかりに力を入れるのではなく、サークルの紹介も同様にすべきではないか。
- 事務局 サークル紹介に関しては、公民館まつりのパンフレットに記載する等の工夫を行っている。日常的には、サークルへの参加を希望する市民に対し、曜日や活動内容などの要望を聞き取りした上で、サークルを紹介している。
- 委員 裁判員に関連した講座では、実際に発生する裁判員の義務を詳細に市民に伝えることが望ましい。
- 事務局 裁判員制度に関する基礎知識を話していただくことになっているが、実際に裁判員制度の運営が開始されてからが楽しみな企画であり、さらに充実させていきたいと考えている。
- 委員 近隣に大学のある公民館は、大学とのコラボレーションを企画できないだろうか。
- 事務局 また公民館と同様、社会人向けの公開講座を開催しているという立場なので、協力することに難しさを感じる。しかし大学によっては、学生個人ではあるが積極的な協力を得られたケースもある。また大学の元講師の協力を得て語学講座を開催したこともある。
- 委員 地域に根付いた公民館の特色を市民に認めてもらうためにも、大学と良い関係を築いていることを、もっとPRすべきである。欧米では公民館と大学のタイアップはU3Aという形で以前から実現されている。

- 事務局 大学の公開講座の主旨は、公民館が目指す社会教育なのだろうか。今まで接触のなかった機関なのだから、大学との協働作業を具体的に考えるのは、これからである。公民館からの呼びかけがなければ実現しないだろう。ただ教授を講師として呼ぶというのではなく、その大学を多面的に知るべきである。難しい点はあるが、これからの課題であると思う。
- 委員 教育部長・教育長・教育委員会と公運審委員の関係は。
- 事務局 教育委員会、および社会教育委員会でも、公運審でなされたのと同様の報告をしている。教育長は教育委員会の事務局長にあたる。
- 委員 シルバー大学の概要は。
- 事務局 シルバー大学は、今まで仕事のため地域参加できなかった方の地域デビューの場であり、あるいは公民館に馴染みはないが行ってみたいという高齢の方を対象に、様々な分野に渡って講座を主催している。講師には専門の方を呼び、約24回の講座から成る。今回で36期目になるが、ほとんどの場合講座終了後サークル化し、各自でサークル活動を楽しんでいるようである。
- 委員 青年・壮年層が少ない友の会の状況は？
- 委員 サークルに参加している若い方がいても、忙しいということを理由に、活動以外の集まりには来ようとしない。しかし、高齢者が活発に活動を続ける中で、次の世代を担う仲間が少しずつではあるが出てきている。やむをえない事情がない限りは、友の会が消滅するようなことはないと考えている。

(2) その他連絡及び報告事項

- ①東京都公民館連絡協議会の定期総会が開催された。 資料②③
- ・公運審についての実態調査が出た。それを反映した話し合いが予想される。
 - ・委員部会が稲城市にある分館で行われる予定。今後の方針を学べたら良いので、是非参加を。

今回は、7月14日（火）午後 3 時より、中央公民館会議室にて開催する。